

平成24年度第2回花巻市社会教育委員会議会議録

平成25年2月15日（金）

出席委員（13名）

石橋恕篤議長、市川浜副議長、赤沼範高委員、伊藤晴二委員、遠藤紀宏委員、尾美裕功委員、菊池敦子委員、紺野佳子委員、佐藤康雄委員、高橋カヨ子委員、千葉恵子委員、福盛田弘委員、門馬優子委員

欠席委員（7名）

小原昭男委員、小菅公夫委員、佐々木悦子委員、佐々木繁夫委員、佐藤彰博委員、千葉緑委員、細川泰史委員

説明のために出席した者

菊池保守まちづくり部長、佐藤加津三生涯学習課長、木村仁地域づくり課課長補佐、藤田哲司スポーツ振興課長、小林忠久市民協働参画課長、越後晃一国際交流室長、太田健小中学校課主幹兼課長補佐、及川好布就学養育課長、藤原宏康文化財課課長補佐

午後1時30分 開 会

1 開 会

2 あいさつ 菊池保守まちづくり部長

3 議 題

○石橋恕篤議長 平成24年度生涯学習振興事業の実施状況について、これから話し合いを進めてまいりたいと思います。ご説明をお願いいたします。

○佐藤加津三生涯学習課長、藤田哲司スポーツ振興課長、小林忠久市民協働参画課長、越後晃一国際交流室長、藤原宏康文化財課課長補佐、及川好布就学養育課長、太田健小中学校課主幹兼課長補佐 【資料説明】(1)平成24年度生涯学習振興事業の実施状況について

○石橋恕篤議長 ただ今それぞれの課からご説明をいただきました。各委員からご質問等があれば承りたいと思います。紺野委員。

○紺野佳子委員 予定どおり計画が実施されたという、大変頑張っていたいただいたものと感心しましたが、予定どおり行われた結果、どんなことが成果だったのか、次年度にどんなことが課題だったのか教えてください。

○石橋恕篤議長 どの部分ですか。

○紺野佳子委員 全体ですが、全体を改めて聞き直すのも大変ですから、特に生涯学習と小中学校課の外部講師のところでは実施された結果どうだったのか、そして次年度にどういうことが課題として引き継がれていくのかということをお聞きしたいです。

○石橋恕篤議長 お願いします。

○佐藤加津三生涯学習課長 生涯学習についてお答えいたします。花巻市は大変生涯学習事業に参加していただく方が多い、それから生涯学習施設の利用が多いと考えています。生涯学習は心豊かな人づくりという考えのもと、豊かな人が増えて、その方々が市内或いは地域に増えることによって地域が活性化されるだろうという考えのもとにまちづくり部で取り組んでおります。大変参加が多い、利用が多い、盛んなところだということところが成果だと思います。課題といたしましては、どうしてもご高齢の方に参加者が偏るという傾向がございます。若い方々の生涯学習事業をどのように推進するかということが課題と考えております。

まちづくり部で取り組むという考え方の中に、地域づくりに生涯学習の成果を生かしていただきたいということがございまして、そちらにつきましては、今後生涯学習の取り組みの中で働きかけ、或いは交流等を通じながら生涯学習事業を地域づくりに役立てるというところで今後取り組んでいきたいと考えております。

○太田健小中学校課主幹兼課長補佐 成果といたしましては、外部講師の先生方には思考力、判断力、表現力等を育成する授業を中心に行っていただいております。今まで暗記とか知識中心の授業が多かったのではないかと思います。新しい育成の方法を中心に授業をしていただいております。その結果、授業後の感想といたしましては、「大変ためになった。」というものが大半をしめております。

この研修に関しましては、研修を受けた先生方が学校に帰って、他の先生方にもこの研修から学んだことを生かした授業を行っておりますので、そのような形で成果が上がっていると考えております。

花巻の先生方は、40代後半から50代の方が多いのですが、こういった研修をとおして、今まで自分がやってきたものと違うものを見て、新たに勉強したいという気持ちになったという感想もありました。大変良い研修だと思いますので、今後も続けていくように努力したいと思います。

○石橋恕篤議長 全体について概要を説明してほしいという紺野委員のご意見でしたが、全体について総括するような形でお話しいただけませんかでしょうか。

○菊池保守まちづくり部長 基本的にはそれぞれの事務事業にはマネジメントシートを作りながら、数値目標と成果が書かれておまして、毎年9月の決算議会にはそれぞれの事業の成果報告を添付し議会の承認をいただいております。

本来であれば、事務事業の評価に耐え得る資料がここにあれば、恐らく皆様方に一目瞭然によく分かっていたいただけるものと思ってお聞きしておりました。

次回からは議会に提出するような資料も併せてお出しすれば、もっと理解も深まるものと思っておりますので、今後の改善事項にさせていただきます。

○石橋恕篤議長 紺野委員、よろしいですか。

○紺野佳子委員 成果と課題を聞かせていただきまして、その事業が子どもたちのために良いことであり、市民のために役立っていると安心いたしました。

○石橋恕篤議長 ほかにありますか。遠藤委員。

○遠藤紀宏委員 小中学校課の模範授業ですが、中学校が国、社、数、理、英。小学校は国

語、算数に絞って行ったという根拠は何かありますか。

もう一つは、最近いじめや命の大切さについて盛んに言われるようになっていますが、そういうことでは何か考えはありますか。

○石橋恕篤議長 お願いします。

○太田健小中学校課主幹兼課長補佐 今年で3年目の事業ですが、教科については基礎教科という観点と外部講師の関係です。3年間同じように進めてまいりましたが、遠藤委員のお話のとおり、小中学校課でも違う教科も考えていかなければならないと話をしているところです。基礎教科ということでこれに絞って3年間続けてまいりました。

いじめ等の問題ということですが、花巻市内の各小中学校では今までも児童生徒の細かい変化、アンケート調査や教育相談などいろいろなところを学校で見させていただきまして、一人の先生が自分の判断で何かをするということではなく、必ず学校としてチームで対応していただくようお願いしておりますし、学校でもそのようにしております。引き続きお願いしているところです。

また、児童会や生徒会などの子どもたちの側からもいじめを無くしていこうという自発的な運動に取り組んでいるところです。

ただ、いじめに気が付かないとか、悩んでいることがあるかもしれませんので、教育委員会といたしましても、地域や保護者の方々に、何か子どもたちが変わったところや困ったことがあったら気軽に学校、教育委員会、教育相談室に情報提供いただけるように広報活動等を行っています。

○石橋恕篤議長 ありがとうございます。遠藤委員よろしいですか。次に、伊藤委員。

○伊藤晴二委員 先日、西南中学校の公開授業に案内をいただき、見に行ってきました。助産師さんの命と生についての講演でした。1年生から3年生まで全校生徒がそれを受けるということで、内容的にも大変感動いたしました。こういうお話は一般の教員ではなかなかやりにくい内容ですが、大変すばらしい内容であったと感銘を受けました。どの学校でもやっていただければいいなと思いました。聞いてみたところ、保健委員会の割り当てという話をされましたが、全体的にはどうなのかと思いました。

ぜひ、生の問題と命の問題は取り上げていただきたいと思います。

○石橋恕篤議長 お願いします。

○太田健小中学校課主幹兼課長補佐 そのとおりだと思います。家庭教育学級等で、養護教諭や保健体育の先生方のネットワークを通じて講師をお願いして各学校で命に対する授業を行っているところです。今後も続けていきたいと思っています。

○石橋恕篤議長 ありがとうございます。ほかにありませんか。市川副議長。

○市川浜副議長 成人式について申し上げたいと思います。今までいろいろな場面で花巻市の成人式はこれでいいのかと言ってきました。今年の成人式に出て、雰囲気は全く変わっていました。式典ですから、あのようであってほしいと思いました。今までは、これからの花巻市を背負って立つ若者たちがこのような状態でもいいのかと常々思っていました。今年の成人式に出席して、成人式式典、まさしくそのとおりでした。

お伺いしますが、そういう場面は見えませんでした。何か特別なことを行ったのですか。

○石橋恕篤議長 佐藤課長。

○佐藤加津三生涯学習課長 生涯学習課が担当いたしましたので、お答えいたします。

まず、昨年の反省点を洗い出したしまして、とにかくステージに注目していただく、式典は式典としてきちんとした形で行おうと考えました。初めに、地元の郷土芸能や祭りのビデオを流しましたが、それらは小中学生の出ている場面が多く、出席された新成人が昔やったことがあるだろうという場面を多く取り入れました。式典の始まりに暗くいたしまして、明るくなったら式典の場面になっているという部分を工夫しましたが、何か特別なことをしたということではありません。成人式をきちんとした形で成人の方々に見ていただきたいということで、反省を踏まえて今年も成人式を実施いたしました。

また、今年の成人式記念行事実行委員会の方々がとても熱心だった、それが伝わった部分もあると思います。

○石橋恕篤議長 市川副議長。

○市川浜副議長 今までの経過が経過でしたから、いろいろ工夫なされたことだろうと思って出席させていただきました。これからもあのようなスタイルで、式典と言えるように取り組んでいただきたいと思います。ありがとうございました。

○石橋恕篤議長 ほかにございませんか。紺野委員。

○紺野佳子委員 昨年の反省点を生かして、大変良かったということを知りて私も嬉しくなりました。実は、今年はどうなるかと思って心配していました。反省点を生かしてということが、一つひとつ積み重なると非常に良くなっていくという意味で申しました。

生涯学習が大変盛んで、まなび学園の活用が大変多くていいことですが、会場を確保するために毎月1日に申し込みに行く仕組みになっています。朝7時前に並んで、扉を開けていただいて、早く来た順に名前を書いています。市の職員が8時30分に来て名前を書いた順番に申し込みをする仕組みです。6時半には並んでいて、真冬になると寒くて辛くなります。毎月そういう状況ですが、まなび学園を利用したいという方が多く、場所が足りないのようになっていくのか分かりませんが、場所が足りないのであれば、学びたいという市民のために場所を工夫することはできないのかお聞きします。

○石橋恕篤議長 佐藤課長。

○佐藤加津三生涯学習課長 場所がないという状態は体育室でありまして、体育室を取りたいがために並ばれている状況です。利用率を見ますと、どこの部屋も1日に1団体以上で使われておりますが、特に体育室はほぼぎっчりの状態です。そのためにご迷惑をかけていると思います。例えば半年に一回予約していただくシステムを採用できないことではありませんが、皆さんに公平に使っていただきたいということで、毎月申し込みにしております。

寒い時期には警備員が時間前でも開けて中に入れるような対応をしておりますので、よろしくお願ひいたします。

○石橋恕篤議長 紺野委員、よろしいですか。ほかにございませんか。門馬委員。

○門馬優子委員 こどもの城構想について、何年間か検討しているようです。候補地を含めて整備に向けてなっています、今どの程度まで進んでいるのか、分かる範囲で教えてください。

生涯学習課のいろいろな事業がありますが、花巻は勉強熱心な方が多く、講座の受講生の数もすごく多いことにびっくりしています。目的が「心豊かなひとづくり」も理にかなって

いることですが、旧町時代は生涯学習というと、一方通行の学習だけではなく人材育成といえますか、リーダー養成といえますか、やがてその人たちが学んだことを基にして、自主学習グループを作るところまではいなくても、自分たちで立ち立って更に一歩勉強を進めていくという目的があって、わりと系統建てて勉強する場があったと思います。今は大きくなってしまって、講座に来る受講生が多くて良しとしているところがあるのではないかという心配と、人材育成について考えがあればお聞かせください。

○石橋恕篤議長 佐藤課長。

○佐藤加津三生涯学習課長 こどもの城につきましては、本日担当課が出席しておりませんので、状況につきましては後ほどお知らせいたします。

生涯学習につきましては、まちづくりに結び付けるというところを重点的に取り組んでいきたいと考えております。市で行うのはきっかけづくりで、最終的には皆さんの自主的な取り組みでいろいろな活動がなされるということが理想と考えております。

きっかけづくりにつきまして、講座ごとにリーダーを選んでいただいて、その方々を中心に活動するような仕組みを作ろうと考えております。ただ趣味講座ではなく、いろいろな知識を身に付けていただくということで、方針をつくってこれから取り組むことにしております。

○石橋恕篤議長 門馬委員、よろしいでしょうか。ほかにございませんか。菊池委員。

○菊池敦子委員 今年度、古代七つの文明展がありました。昨年度後半より教育委員会からもたくさん宣伝いただきましたので、うちの学校は人数が少ないですが、ぜひ見に行こうということで、今年度の計画の中に入れました。土日であればふるさとパスポートも使えると聞いておりましたが、近くなりまして始まるころには有料でお願いしますということでした。平日に行ったとしても入場料はかかるということでした。私たちは土曜日に行きましたが、引率の分はかかりませんでした。生徒の入館料一人200円を払いました。でも、企画展自体は素晴らしいもので、常設展示も普段見ることがないので、学習に大変役立ちまして、子どもたちは喜んで終わりの時間ぎりぎりまで見ていました。

せっかくこのような素晴らしいものやっていたら、宣伝などできっとお金はたくさんかかったと思います。でも、生徒が見に行くときには、ぜひ免除をお願いできないかと思います。特に今回のような大きな企画展であれば、地元の小中学生の優遇措置をお願いしたいと思います。ただ、教育委員会にはバスの手配をいただきまして、私たちはそういう意味で助かりましたが、せっかくふるさとパスポートもありますので、企画展の時も有効に使わせていただけるような仕組みづくりをお願いしたいと、今年度の中での意見です。

3番目の今日的課題の共有で基本施策が7つありますが、小中学校であれば今年度から復興教育について具体的に行うようになっていきます。施策の方向として、花巻においても岩手県民の一員として大震災をどのようにとらえるのか、入れる部分がないのかと考えたところです。

今年度のここに載っている事業の中で嬉しかったものが、4ページの中ごろの「サマーキャンプ イン 戸塚森」です。花巻市青少年育成市民会議で音頭を取っていただいて、今まで行っていなかった、全市の小学校高学年のリーダー研修会に取り組んでいただきました。

私ども校長会でも横軸連携ということで、花巻市の場合は釜石市と連携して活動をしてい

ます。中学校の場合は各学校で生徒会が行ったり、部活動の交流試合に来たりということがあります。小学校では今年度各学校から2名ずつ生徒を連れて被災地を見に行くという学習をしています。あまり予算のないところでしたが、募金の中から少しずつ工面いたしました。今年度末に来年度の方向性を確かめたところ、向こうは教育課程をきちんとやりたい、ただし何かの交流のために向こうから来たいというお話がありました。向こうから来た時にキャンプを行うのはどうだろうという話もありました。

ですから、この施策の中に震災について考えるということがあってもいいのではないかと思います。震災の教訓を忘れない、復興への道筋の種まきをするという意味で、子ども同士の交流ということで、青少年の育成と絡め併せて、施策のどこかに挙げていただくような、または金銭的なご援助いただくようなことをどこかで計画していただければ、ありがたいと感じました。

○石橋恕篤議長 菊池委員から要望でしたが、お答えできますか。

○藤原宏康文化財課課長補佐 市の博物館で昨年行われました七つの古代文明展にご意見をいただきまして、ありがとうございます。

入場料免除等につきましては、今後いろいろな特別展があるかと思いますが、反省点を踏まえまして、次に生かしたいと思います。

○石橋恕篤議長 ありがとうございます。ほかにどなたか、伊藤委員。

○伊藤晴二委員 4ページの生涯学習推進体制の整備について、まなびガイドブックが作成されました。短期間であれだけ膨大な内容を網羅して、驚きましたし、大変素晴らしと思いました。今後これをどうするか、例えば先人の扱いについては、果たしてこのままでいいのか、郷土史研究家から見ればどうなのかということも含めて見直しが必要ではないかと思います。今後の見通しについてお願いします。

私が見て感じたのは、記念館とか博物館等の施設については少し簡単すぎるので、あそこに行くところのようなことが学べる、或いはこれが知りたい人はここに行けば分かるというような、内容を少し工夫して皆さんに提示していただければ良いと思います。

大迫の総合文化財センターでは岩手の弥生展が行われました。私は、内容について質もレベルも相当高いものがあるだろうと思いました。新聞でも取り上げられたので、大変注目を浴びたと思います。説明の資料は裏表4ページありましたが、詳しいものではなく、専門的なものではなく、簡単なパンフレットのようなものが公共施設や学校等にあれば子どもたちも見ると思います。

文化財関係の説明板について、今年度は5件のうち2件ということですが、説明板の持つ力は結構大きく、うちの地域コミュニティーが1つ作りましたが、早速話が広がり、もっと知りたいということでした。説明板を作ることで深まり広がりが出てくるということがあります。県の文化財以外にもどんな計画があるのか伺います。

最後に、同じ説明板関係で、先日イギリス海岸で現地説明会がありまして、私も行きましたが、200人を超える人がいて驚きました。賢治を深く知りたいという人がたくさんおりました。説明そのものは30分程度で終わりました。モニュメントは確かにありますがイギリス海岸の説明があれば、けっこう県外からも来ますので、予算も伴いますが、ぜひそういったものも併せて検討していただきたいと思います。

○石橋恕篤議長 担当課からお願いします。

○佐藤加津三生涯学習課長 まなびガイドブックは生涯学習課で作成いたしました。ご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。

皆さんのお力もお借りしながら作りましたガイドブックです。作って終わりではございません。内容については随時見直しを図りながら、今のご意見も取り入れながらどんどん進化させていきたいと思っておりますので、お気づきの点がありましたら、またお知らせいただくようお願いいたします。

○藤原宏康文化財課課長補佐 ご意見ありがとうございます。

弥生展につきましては、そういった資料を作ればよかったと思います。ご意見のとおりだと思います。予算の制限等もありまして、そこまで至らなかったという状況です。

来年度以降もいろいろな企画展を行う際にはご意見も踏まえて取り組んでまいりたいと思います。

説明板につきましては、ガイドブック全体がようやく揃いましたので、来年度から本格的に文化財の説明板整備に取り掛かることで、予算要求を行っております。

今年度に説明板の状況を洗い出したしまして、緊急性を要するもの等のランク付けをいたしまして、予算の範囲内で順次整備に取り組んでまいりたいと思います。

一気にできればいいのですが、ご理解をいただきたいと思っております。

○石橋恕篤議長 伊藤委員、今のお話でよろしいですか。次に、紺野委員。

○紺野佳子委員 芸術文化関係です。花巻には記念館や美術館があって、大変期待するところが大きいです。その運営や企画についてです。陸前高田の広田中学校に寄贈された市民の方々の絵が水でかびたり汚れたりしています。美術館では絵を受け取りに行き、三重県で修復したものを陸前高田では保管する所がないので、萬鉄五郎記念美術館で保管し展示が行われています。これは大変素晴らしいことだと思えました。陸前高田は芸術文化が盛んなところで、私たちから見ても、素晴らしい人がたくさん出ています。花巻の美術館がそこに行って支援したとか、保管しているとか、皆のために展示しているという美術館の活動は、芸術文化にとっては大変大きなことだと感じています。

花巻にある各記念館もそういうことができるような予算と場所があれば大変いいと思えました。意見です。

○石橋恕篤議長 芸術文化についてご意見をいただきましたが、担当課で何かコメントはありますか。

○佐藤加津三生涯学習課長 ご意見ありがとうございます。

震災につきましては、単に市町村の問題ではなく、岩手県全体の問題だと思ってございますので、貴重なご意見をいただいたと考えております。

○石橋恕篤議長 ほかに、どなたかございませんか。

無ければ、これで終了してもよろしいでしょうか。

(「はい。」の声あり。)

○石橋恕篤議長 では、議題の平成24年度生涯学習振興事業の実施状況については、各委員からご意見、要望等をいただきました。これで意見も出尽くしたと思っておりますので、この実施状況については閉じさせていただきます。

ありがとうございました。事務局お願いします。

- 佐藤加津三生涯学習課長 大変長い時間、ご意見ありがとうございました。
これで平成24年度第2回花巻市社会教育委員会議を閉会させていただきます。
ありがとうございました。

午後2時54分 閉 会